

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	施設見学1	
科目基礎情報							
開設学科	柔道整復科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	15時間
単位数	1単位		授業形態	演習			
教科書/教材							
担当教員情報							
担当教員	本澤光則 宮本功三 青木伊之 後藤晃弘 小西 裕司			実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的							
職業人とは社会において生計を立てる特定の仕事をする人を指す。そのうえで守るべき規範が倫理である。職業倫理とは専門の職業を生業としている個人が、その職業において社会的責任や役割を果たすために必要とされる行動の規範や基準であると考えられる。医療を志す者は、その資格創設の経緯から職種としての倫理観を強く意識する必要がある。社会生活から乖離した医療は存在せず、医療従事者と社会は緊密な相互関係を出来なければならない。様々な施設を見学することで、医療を担う専門家として国民の健康保持に寄与することができる人材育成がねらいである。							
到達目標							
医療従事者の対象が常に患者であることと、その患者の健康を願うという目的を持つ特殊性から、患者に関する倫理の原則はどの職種においてもほぼ同じであり、患者に対してどのようにあるべきかということを医療を志す学生は学ぶ必要がある。そもそも柔道整復師は、社会生活の中で何らかの原因から負傷し、柔道整復師の施術を必要とする人々とのかわりのなかで、現在の職種としての地位を築いてきた。患者を守り、患者を傷つけず、医療従事者の使命を全うするための知識の一つとして社会生活とのかかわりを各施設で学ぶのが目標である。							
教育方法等							
授業概要	見学施設として、施術所、病院、診療所、介護老人施設、体育施設、各種スポーツ大会会場をはじめとして、一般企業や教育施設、福祉施設も対象とする。						
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、演習見学中の私語や態度ならびに服装などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提としたマナーで見学に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位の履修ができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～3回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	体育施設見学		スポーツ大会を通じた見学ならびに体験				
2回	教育施設見学		多職種を理解するための見学ならびに体験				
3回	医療施設見学		接骨院・病院等で医療従事者の立場を理解するための見学ならびに体験				
4回							
5回							
6回							
7回							
8回							
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							